

飼い主のいない

猫

との共存について

飼い主のいない猫（いわゆる野良猫）が繁殖し、猫を迷惑に思っている人と、不幸な猫に心を痛めている人との考え方の違いから、相談が多く寄せられています。

野良猫で迷惑している人も、かわいそうな猫を助けたい人も、共通する気持ちは、「不幸な猫（飼い主のいない猫）を減らしたい」ということです。しかし実際に野良猫の数を減らしていくには時間を必要とします。これ以上猫を増やさない、エサやりによる迷惑を防止するなど、地域のトラブル防止に取り組みましょう。

## 屋外での無責任なエサやりはやめましょう

お腹を空かせた猫が目前にいれば、ついエサを与えたくくなります。

しかし、不妊去勢手術をせずにエサを与え続ければ、猫はその場に居着き、繁殖し、あっという間に数が増えてしまいます。

すると近隣住民の敷地内等でふん尿をする・車などで爪とぎをする・花壇を荒らすなどして、猫を迷惑なものと感じる人が増えていきます。

それだけでなく、猫同士の喧嘩による怪我、感染症や交通事故が起こる確率が高まったり、エサの放置により、カラスなど猫以外の動物が集まってくることもつながります。

その結果、無責任なエサやりによる「かわいそう」な猫がさらに増えることになってしまいます。



# 猫による迷惑を軽減するには？



## 忌避剤を使う

- 市販の忌避剤（ホームセンター等で販売）を置く
- 香りの強いハーブなどを植える（ユーカリ、ゼラニウム、ローズマリー、レモングラスなど）
- 木酢液（園芸用肥料）を容器に入れるか、スポンジや布に染みこませて置く
- コーヒーを淹れたあとのかすや、どくだみ茶などの茶がらを散布
- 米のとぎ汁（とぎ始めの濃い汁）を毎日撒く
- 食用酢（2倍から10倍程度に水で薄めたもの）を毎日噴霧<sup>ふんむ</sup>。

猫の嫌いな臭いや刺激臭によって猫が近づきにくくする方法です。雨や風で効果が薄れるため、定期的に交換してください。  
猫が臭いに慣れて、効かなくなる場合があるので、同じものを長期間使用するのではなく、時々種類を変えてみましょう。なかには臭いが強いものや、色がついてしまうものもあるので、注意してください。

## その他の対策

- 猫は水を嫌うので、水をたっぷり撒く
- 猫が通るところに大きめの砂利や軽石、松ぼっくり等を敷き詰める
- 花壇に枯れ枝を敷き詰める（球根や種が植えてあるところに敷き詰めると掘り返されにくい）
- 目の細かい網を敷く（敷くと爪がひっかかり歩きにくい）
- ネットや柵を設置する（乗り越えられない高さの網や柵で囲うか、侵入路をふさぐ）
- 園芸用の石炭や炭粉などを敷くと足に付いて猫が嫌がる



**猫（野良猫も含む）は愛護動物として動物の愛護および管理に関する法律によって守られており、町や保健所等で捕獲・殺処分することはできません。**

## 飼い主の方へ



### 不妊・去勢手術をしましょう

将来、猫を増やすことを望まない場合は、不妊・去勢手術をしましょう。不妊・去勢手術をすることにより、繁殖のための争いやストレスを軽減することができるだけでなく、発情期の鳴き声やスプレー行為なども抑えられます。尿の臭いも抑えられるとも言われています。むやみに数を増やさず、適正な頭数を飼いましょう。

### 猫は室内で飼いましょう

屋外で飼育すると、他人の庭にふんをしたり、鳴き声等の迷惑をかけたりします。そのため猫がいじめられたりする危険性があります。また、交通事故に遭う可能性も高まり、感染症等で命を落とす危険もあります。  
猫はエサが十分に得られれば特に広い生活空間は必要としないため、猫の健康と安全を守るためにも、室内で飼育しましょう。



問合せ 役場生活環境課環境係 ☎ 049(295)2112 (内) 171・172